

1) JWWA K 115 : 1989 (水道用タールエポキシ樹脂塗料塗装方法)の一部修正について

5.4.7 衝撃試験 (6 ページ)

誤	(1) 直接衝撃試験は、試験片の塗膜を上にして平らな木製台(5)の上に置き、表面をよくみがいた650gの鋼球を 400mm の高さから垂直に塗膜上に落下させる。
正	(1) 直接衝撃試験は、試験片の塗膜を上にして平らな木製台(5)の上に置き、表面をよくみがいた650gの鋼球を 2400mm の高さから垂直に塗膜上に落下させる。

2) JWWA K 148 : 2000 (水道用レジンコンクリート製ボックス)の一部修正について

修正前 付表 14 角形底版 (1号~3号(P))の主要寸法 (18 ページ)

種類	部材記号	A		B		H (最小)		
		寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	
角形用	1号	RB5040 (P)	600	±4	200	±3	40	±3
	2号	RB6050 (P)	750					
	3号	RB7050 (P)	950					

修正後 付表 14 角形底版 (1号~3号(P))の主要寸法

種類	部材記号	A		B		H (最小)		
		寸法	許容差	寸法	許容差	寸法	許容差	
角形用	1号	RB5040 (P)	680	±4	200	±3	40	±3
	2号	RB6050 (P)	750					
	3号	RB7050 (P)	950					

(修正箇所) 角形用1号のA寸法を600 680に修正。

3) JWWA S 102 : 2004 (浄水器)の一部修正について

正誤表

位置	誤	正
9.4.2 b) 試験 (4 ページ)	なお、濁度の測定は、 JIS S 3200-7の附属書 19 (規定) (濁度の分析方法)の 3. (透過光測定法)又は 4. (積分球式光電光度法)による。	なお、濁度の測定は、 JIS S 3200-7:2000の附属書 20 (規定) (濁度の分析方法)の 3. [B法(透過光測定法)]又は 4. [C法(積分球式光電光度法)]による。